



令和3年度(2021年度)学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成



校訓【自主・友愛・健康】

玉名市立天水中学校だより 第7号

6月は「心のきずなを深める月間」



—いじめを許さない学校・学級を目指して—

先月末から各学級で人権学習が行われています(写真は5月28日の3年生教室)。資料は1年生「わたしのいもうと」(偕成社)、2年生「とうちゃん部落の夜明けばい」(きずな)、3年生「班ノートから」(くすのき)です。これらの資料名を見られて記憶にあるという保護者の方もいらっしゃるかと思います。子供さんがそれらの資料を活用した学習を通して、どんなことを

考えたり話し合ったりしたかを、ご家庭でも話し合ってみられてはいかがでしょうか。

今回の学習は18日の全校集会(人権集会)につながります。いじめを許さない学校・学級を目指して、天水中学校のかげがえのない生徒として自覚ある「思考力」「発信力」「協働力」を駆使して、具体的行動への意欲を高めてくれるものと期待しています。

先月末には「平成28年熊本地震及び新型コロナウイルス感染症に係る児童生徒の心のケア」に関する調査が実施されました。その中から「新型コロナウイルス感染症に関連して、心配なこと、不安なこと、悩みはありますか」という問いに対して本校では、**1年生の「19.5%」、2年生の「37.0%」、3年生の「45.5%」が「ある」と回答しています。**学年が進むにつれ、感染症の影響が当事者意識を持って重く受け止められている結果ではないかと考察します。「正しく恐れる」ことの難しさもうかがえます。感染症の影響は直接・間接を問わず私たちの心身、生活様式に大きく作用していると言えます。そうした中で、自分自身や身近で大切な人の「心のケア」にも心配りができるようにしていきたいものです。

「いじめのこと(自分や家族のことでからかわれた、悪口を言われた、など)」は、**全学年とも0%**でした。この結果は昨年度末からお伝えしているように、本校の3年生がいじめの発生しにくい学年であることに通じています。この結果にあぐらをかくことなく、いじめを許さない学校・学級を目指して自らの人権意識・人権感覚を磨き続けていきましょう。

キャリアデザインの参考として—教育実習生の姿から

5月31日から3週間の予定で本校卒業生二人(国語、養護)が教育実習生として来校しています。二人とも大学4年生。将来の職業生活をしっかりと見据え、実習に取り組んでいます。先輩方の頼もしい姿に本校の子供たちもよい刺激を受けています。

(人事労務用語辞典によれば)「キャリアデザイン」は、「自分の職業人生を自らの手で主体的に構想・設計すること」です。「自分の経験やスキル、性格、ライフスタイルなどを考慮した上で、実際の労働市場の状況なども勘案しながら、仕事を通じて実現したい将来像やそれに近づくプロセスを明確にすることが、キャリアデザインの要諦です」とされています。

たくましく未来を切り拓くための将来像や、それに近づくプロセスを明確にすることは、いつからでも始められそうです。そのようなきっかけをつかむチャンスは、日頃の身近な人との対話、そして今回のような刺激的な先輩の姿を目にすることなど無限にあるからです。

3週間という限られた時間ですが、実習生にとっては大きな意味を持つ時間です。大学での座学を踏まえ、実際の学校現場で見聞きし、実感することすべてが今後の職業生活としての教職の道に進む意欲を高めることになるからです。

実習生二人にとっても本校の在校生にとっても貴重な出会いであり、それらの出会いがお互いにより影響を及ぼしていると言えます。人を幸せにする人を育てる人材育成です。

◇本校ホームページも随時更新しています。[天水中学校](#)で検索